

小嶺 千尋 (KOMINE, Chihiro)

沖縄キリスト教学院大学 人文学部英語コミュニケーション学科 准教授

【プロフィール】

取得学位、 大学・機関、取得年	<p>学士号 琉球大学法文学部人文学科欧米文化コース卒業、2000年</p> <p>修士号(アメリカ研究)カリフォルニア大学フラートン校 (California State University at Fullerton), アメリカ研究学部大学院修士課程修了、2004年</p> <p>ハワイ大学マノア校アメリカ研究学部博士課程中退(2015年)</p>	
専門分野	アメリカ研究、ハワイ・沖縄ディアスポラ研究	
研究分野	米国マイノリティ文学、ハワイ・沖縄ディアスポラ研究	
研究職歴等	<p>琉球大学国際沖縄研究所研究推進支援員 2008-2010</p> <p>NPO 沖縄語学センター 非常勤講師 2010-2011</p> <p>沖縄キリスト教学院大学 非常勤講師 2012-2016</p> <p>琉球大学 非常勤講師 2012-2019</p> <p>沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 特任講師 2017-2019</p> <p>沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 准教授 2020-</p>	
担当科目	英語講読演習、ハワイアン・スタディーズ、米国文学作品研究、近代沖縄とアイデンティティ、パフォーマンス・スタディーズ入門	

【研究活動業績】

研究業績 (主要論文・著書)	<p>「トニ・モリスンの The Bluest Eye (『青い眼がほしい』) の沖縄における読みの実践: 文化研究の手法と多言語的アプローチ」(沖縄キリスト教学院大学論集、2017)</p> <p>“U.S. Occupation of Okinawa by Photography: Visual Analysis of Shurei no Hikari,” OJAS: The Okinawan Journal of American Studies (2009)</p>
(翻訳)	<p>Wesley Iwao Ueunten / 崎原千尋(訳)「21世紀のグローバル社会における沖縄アイデンティティー自己決定、真心、愛」『沖縄・ハワイ: コンタクトゾーンとしての島嶼』(彩流社、2010)</p>
(その他)	<p>研究ノート「Native Voice (先住民の声), Intersection (交差性), and Kuleana (立ち位置と責任)—沖縄における「ハワイアン・スタディーズ」コース・デザインの試み—」(沖縄キリスト教学院大学論集、2018)</p> <p>インタビュー「大城 貴代子 元沖縄県女性政策室長 オーラル・ヒストリー」成果報告書「人の移動と21世紀のグローバル社会プロジェクト」(琉球大学、2012)</p> <p>“From Unai to Unai”: Post-reversion Generation’s Challenges in Continuing History of Unai Festival” 事業報告「沖縄におけるジェンダー学の理論化と学術的实践—沖縄ジェンダー学の創出」(琉球大学国際沖縄研究所、2012)</p>
社会活動等	<p>沖縄県女性団体連絡協議会 2019年新春の集いシンポジウム「女性の政治参画について」コーディネーター</p> <p>2019年度小淵プログラム大学説明会ゲストスピーカー</p>



	ハワイ東西センター沖縄同窓会(会計 2010、理事 2016) 沖縄県女性力・地域力人材育成促進事業「沖縄うない研究者ネットワーク活性化事業」(2013)共同代表 那覇市うないフェスティバル 2011 共同実行委員長
所属学会	沖縄外国語文学会 Critical Ethnic Studies Association (CESA) Native American and Indigenous Studies Association (NAISA)

一言	[一言] 縦のつながり(うやふあーふじや沖縄の歴史とのつながり)と横のつながり(例えば黒人女性、ネイティブ・ハワイアンやハワイのウチナーンチュたちとのつながり)を意識した授業づくりを目指しています。この「縦＝沖縄」と「横＝国際的な平和、平等、共生の視点」の糸が繋がる「場」をキリ学で共につくり、沖縄で生きる私たちそれぞれの「スクブン」(うちなーぐちで「責任」、「自分の進むべき道」のような意味)とは何か、一緒に模索していきましょう！
----	--